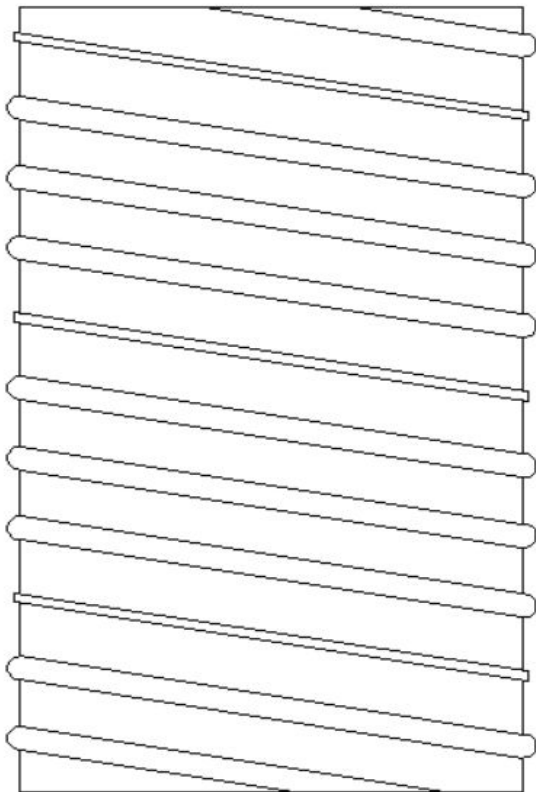


# リブ付きスパイラル鋼管

- リブの有無の強度比較にて -

(仮) 2016年 2月 5日



橋梁用排水装置「高気密ステンレス排水管」と「円筒型枠」

**T.S** 株式会社 トーカイスパイラル

〒483-8257  
愛知県江南市上奈良町豊里37  
TEL 0587-53-1545  
FAX 0587-53-5195



- リブの有無の強度比較にて -



一般的によく使われる空調用のダクト管		リブ付きスパイラル鋼管	
亜鉛メッキ鋼板 (コイル)	材質	亜鉛メッキ鋼板 (コイル)	
t=0.6mm	厚み	t=0.6mm	
H=150mm	幅	H=130mm	
L=1,000mm	長さ	L=1,000mm	
φ 500mm	径	φ 500mm	

リブ無 スパイラル管



リブ有 スパイラル管



試験前 径がφ500mmであることを確認



両方に 18ℓ x 3つの重りをつるす (約50kg)  
下面にはパレット(木製)を敷き 面を固定する

リブ無 スパイラル管



リブ有 スパイラル管



リフトで持ち上げ 重りが浮いているのを確認



縦 L=405mm(-95mm)

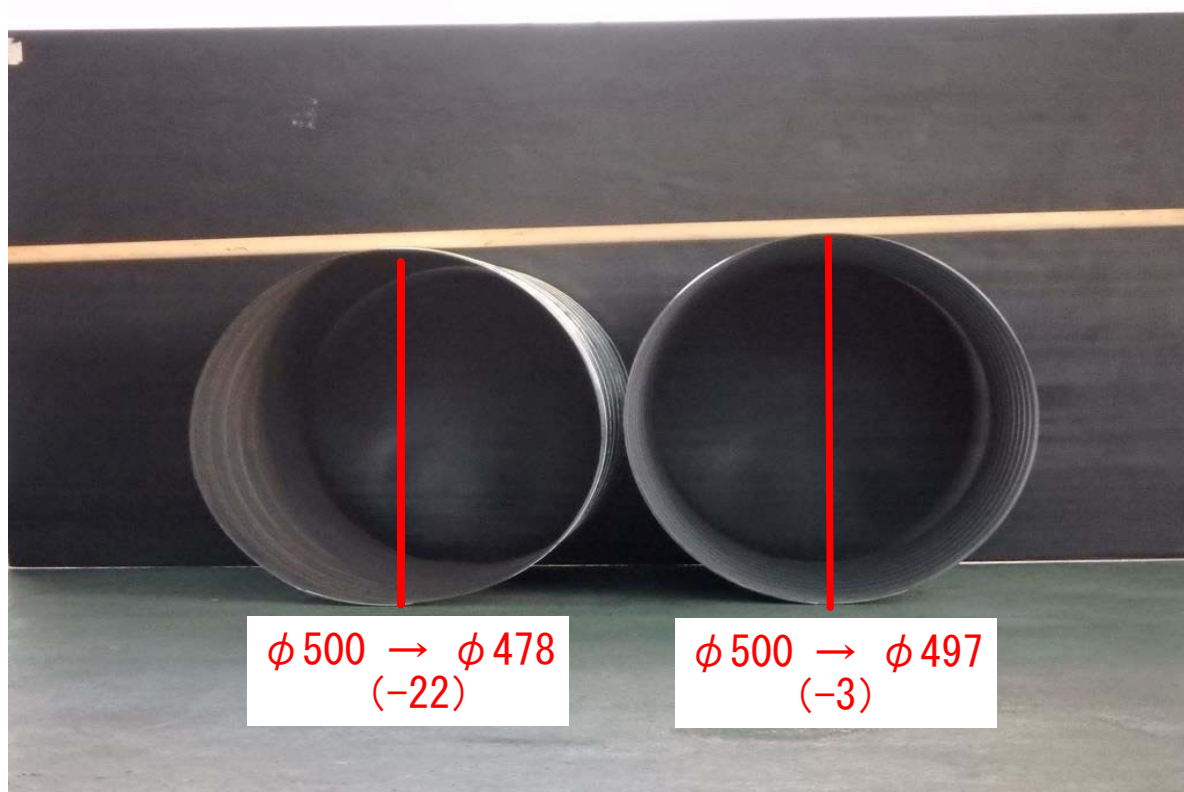
縦 L=485mm(-15mm)

横 L=565mm(+65mm)

横 L=510mm(+10mm)



## 試験後 比較写真



リブ無スパイラル(写真左) リブ有スパイラル(写真右)

### スパイラル鋼管(リブ有無)の特徴

スパイラル鋼管(リブ有無)の特徴		
特徴	メインが空調用で、土中埋設ようではないので周りの土埋戻し、コンクリート打設時の強度は期待できない	土中に埋めるためのスパイラルであり強度は期待できる。リブがある分、コンクリートの付着面積が広いため、密着面積も多くなる。
重量	9.04kg	9.95kg
施工性	スパイラルの周りの埋戻しの際、径が変形する可能性があるため寝かせブロックが入りづらい。	ある程度の強度が見込めるため施工性には優れる。
強度	空調用として成型されているため衝撃には弱い。内側はなめらかなため、コンクリートとの密着が劣る。	ハゼとハゼとの間にリブ補強が3本あるため、ある程度の衝撃には耐えられる。内側に凹凸があるため、コンクリートとの密着は良い。
総合評価	上記結果より、照明灯・街路灯・防球ネットなど(土木関係)ポールの基礎等で使う場合は、同じ厚みであれば、施工性・強度を見てもリブ付きスパイラル鋼管の方が適していると言える。	